

陸別町中心部商店街

(陸別町商工会)

北海道陸別町

インバウンド

地域課題対応

若手・女性

生産性向上

ポイント

町民の意向をしっかりと汲み、官民一体となって「コミュニティプラザ☆ぷらっと」を建設、地域に賑わいを取り戻すきっかけをつくる。

基本データ

所在地	北海道足寄郡陸別町
人口	約 2,500 人 (陸別町)
電話/FAX	0156-27-3161 / 0156-27-2752
URL	https://www.shibare.or.jp/
会員数	86 名
店舗数	36 店舗 (小売業 14 店、飲食業 12 店、サービス業 7 店、医療サービス業 1 店、その他 2 店)
商店街の類型	地域型商店街
主な客層	高齢者、家族連れ (親子) / 60 歳代、70 歳代以上

商店街概要

陸別町は、人口約 2,500 人の北海道東部の内陸に位置する町で、市街地から隣接市町村の中心部まで 30km 以上離れた孤立した地理条件の中、旧駅前商店街が形成されている。商店数は人口減少などの諸要因による経営難のため減少傾向にあり、空き店舗の増加や後継者不足、買い物弱者対策が課題となっている。そのような状況の中、陸別町商工会が商店街組織の役割も担っており、町の支援を受けながら売り出しセール抽選会やプレミアム商品券の発行などを行っている。また、商工業の再生・空き店舗対策などを検討する商工業再生対策委員会を立ち上げ、他町村の視察やまちづくりに関する研修会を開催して地域活性化やまちづくりに取り組んでいる。

取組の背景

商店街を再生し、安心安全な生活を

近年、商店街の店舗数が減少し、生活していくために最低限必要な薬局などの生活必需品が購入できない店舗が無くなりつつあり、地域住民は一般的なサービスも受けられない状況になっていた。人口減少・高齢化が進行する中では、子育て世代や高齢者、障がい者が安心・安全に暮らすためには地域生活の場として商店街が不可欠であり、地域住民のニーズに応える商店街の再生が急務となっていた。しかし、現状では事業者や個人任せの新規出店は難しく、現在の事業主も高齢化により既存店への再投資は望めないと判断。まず現状を把握し町民が望む機能・施設の調査分析を行った上で、不足業種を誘致するためのテナントスペース、また、誰もが気軽に休め交流できるコミュニティスペースを有する複合商業施設を市街地中心部に建設することが必要と考えた。

取組の内容

コミュニティスペースで充実感を

地域住民へのアンケートなどから町内では日常生活に必要な物品を購入することができず、町外での購入を余儀なくされており、町内には車を持たない高齢者などの「買い物弱者」の増加が明らかとなっていた。そこで、地域住民の生活を守る上で必要最低限の商業機能を再生していかななくてはならないと

考え、事前の調査結果から町民が何を求めているのかを分析し、施設に誘致するテナントや機能を検討していった。

まず、町内に不足している業種であり、住民から求める声が多くあがった薬局や医療・福祉系店舗として、「日用雑貨も扱う薬局」および「保険適用の整体整骨院」の誘致を決定。さらに、町内飲食店についても、多くの経営者が後継者不在により今後廃業を予定していることから、「ハレの日」の外出としても対応できる「寿司店」の誘致を決定。陸別町商工会一丸となって精力的に活動し、これらのテナントの誘致に成功、町民の生活を守る上で最低限必要な商業機能の維持に繋がった。

複合商業施設は「コミュニティプラザ☆ぷらっと」と命名し、子どもから高齢者までの幅広い世代が気軽に、気ままに、気楽に集える場所として、「安らぐ場、交流の場、活動する場」をコンセプトにしたコミュニティスペースを設置。多世代の町民が交流できる場として商工会直営のコミュニティカフェを整備したほか、子ども達が安心して遊べるキッズスペースや手作り品の展示・販売を行うレンタルボックス、町内の情報を発信するコーナーも配置した。コミュニティカフェでは、休業の日に「ワンディ・シェフ」として町民が 1 日シェフとして飲食店体験を行ったり、普段は足を運ぶことが難しい近隣市町村の飲食店が期間限定で出店する場としても利用されている。また、施設内にはバーベキューやビア

ガーデンとして使えるバルコニーなどもあり、町民が世代を問わず集い、交流できる機能を十分に備えた施設とした。



「コミュニティプラザ☆ぷらっと」

取組の成果

町民から望まれるコミュニティ施設

町民の意向を事前に綿密に把握した上で施設整備に取り掛かることで、町民から真に望まれた複合施設として「コミュニティプラザ☆ぷらっと」を建設し、商業環境の改善と住民交流の場を整備することができた。



秋祭りイベントで賑わうコミュニティカフェ

運営を安定して継続するための工夫として、様々なイベントの開催、コミュニティカフェや寿司店の日曜日営業などを実施。また、町内国保診療所の薬の処方完全を院外処方とすることで薬局へのさらなる誘客も図ったことで、施設全体で予想を上回る

利用者数、売上を達成することができた。薬局と整骨院においては利用者数が増加したことから新規雇用者数も増加し、さらに歩行者通行量もオープン前に比べて倍増した。「コミュニティプラザ☆ぷらっと」に入居する店舗は陸別町にひとつしかない町民に求められたものであるため、これまで閑散としていた場所が賑わいの場所へと変わっていった。

実施体制

「コミュニティプラザ☆ぷらっと」については、陸別町から施設の設計費や整備費の一部に補助を受けるとともに、誘致した薬局の経営安定を図るため、町内国保診療所の薬の処方を院外処方に変更するなど多くの支援を受けており、中心市街地の活性化に向けて官民一体となって取り組んでいる。



陸別町商工会主催によるぷらっと 1周年記念事業

今後の施設運営については商工会が、テナント料、会議室やカフェ貸切の使用料により施設を継続的に運営していくとともに、さらなる活用方法の企画・提案を行っていく。

また、商工会の青年部・女性部は、イベントをはじめ高齢者住宅の除雪、見守り隊の活動や駅前周辺の美化活動の取組など今後も地域コミュニティ再生の担い手として、「コミュニティプラザ☆ぷらっと」を拠点に活動していく。

キーパーソンからのコメント



陸別町商工会
会長 石橋 強

安全安心な生活環境をつくる

人口減少が進む中、町民が安心・安全な暮らしができる地域生活の場として商店街の存在は不可欠であり、「まち」としての最低限の機能を維持し地域コミュニティを守るためにも、町民のニーズに応える商店街の再生が急務でした。町内で生活必需品を買えず一般的なサービスも受けられない状況だったため、町民が安心して暮らすことができるよう、不足業種を誘致し、気軽に休めるコミュニティの場を備えた複合商業施設を町の中心部に建設しました。

コミュニティスペースを活用し賑わいを

コミュニティスペースには、飲食コーナーや手作り雑貨などが販売できるレンタルボックス、キッズコーナーを設置しました。ワンディ・シェフとして厨房を1日貸し切れることもできます。また、高齢者交流の場として介護予防相談などを受ける専門職を配置した「ほっとカフェ」や小学生以下の子ども達が利用出来る「子どもカフェ」を定期的開催、町内のイベントなど地域情報も発信しています。今後も町民のニーズに応える参加型の事業を展開していきたいと思います。